

最賃1000円 全国到達 比較推移表

毎年3%改定で・・・安倍首相

(単位 円)

年次	Dランク県	宮城 C	全国平均	東京 A
2015年	695.00	726.00	798.00	907.00
2016年	715.85	747.78	821.94	934.21
2017年	737.33	770.21	846.60	962.24
2018年	759.45	793.32	872.00	991.10
2019年	782.23	817.12	898.16	1,020.84
2020年	805.70	841.63	925.10	
2021年	829.87	866.88	952.85	
2022年	854.76	892.89	981.44	
2023年	880.41	919.68	1,010.88	
2024年	906.82	947.27		
2025年	934.02	975.68		
2026年	962.04	1,004.95		
2027年	990.90			
2028年	1020.63			

【コメント】

安倍首相は昨年11月、経済諮問会議で「最賃時給額1000円をめざす」「毎年3%ずつ引き上げる」方針を打ち出した。この場合、Dランク県が13年、宮城が11年、全国平均8年、全国トップの東京が、わずか4年で到達。

ABCDのランク付けが、いかに不当かを示しています。

